

# 新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



2021 年春号



## 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い

当院では、院内感染を防止するために、以下の対策を行っております。来院される皆様（患者さん、ご家族、関係機関の方）のご理解とご協力をお願いいたします。

- 入院患者さんとの面会は原則お断りさせていただきます。
- 2週間以内に新潟県外から来られた方、県外滞在歴のある方との接触はご遠慮ください。
- 2週間以内に発熱（37.5℃以上）及び風邪の症状がある方は来院前に外来にお電話をください。
- 発熱・呼吸器症状などの有無を確認させていただきます。
- 必ずマスクを着用してください。

## Contents

新年度のごあいさつ

- 院長あいさつ ○事務長あいさつ

退職医師のお知らせ

診療科のご紹介

- 緩和ケア内科 ○形成外科

講演会・研修会等開催報告

- ボランティア永年活動者表彰式

- 地域医療連携講演会開催報告

- 在宅医療研修会開催報告

患者サポートセンターからのお知らせ

令和3年5月外来診療予定表



2021 年春

## 新年度のご挨拶

新潟県立がんセンター新潟病院 院長 佐藤信昭

平素より当院との医療連携に際して多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

一昨年末からの新型コロナウイルス感染症の拡大は第4波に入ったとの認識がなされ、医療提供体制の逼迫が報じられています。当院は新型コロナウイルス患者の診療や受け入れをしておりませんが、都道府県がん診療連携拠点病院としての本来の役割を全うすることで地域に貢献したいと考えています。

がん対策事業 オンラインセミナー「あなたががんになる前に、なった後に、できること」が令和3年3月21日に開催されました。

コロナ禍により、がん検診の受診控えが起きており、がんの発見の遅れ、重症化が危惧されます。がんの多くは老化現象であり、高齢社会で増加し続けていますが、早期発見・早期治療で約95%の人が治ります。がんは早期には自覚症状がありませんから、早期発見にはがん検診が重要です。がんを早期に発見できる期間は限られているので、がんの種類にもよりますが1～2年間隔で定期的に受診することが重要です。

乳がん、肺がん、胃がん、子宮がん、大腸がんの5大がんと遺伝性がんにまつわる最新医療も連続講座で取り上げられました。がん医療はがんの遺伝子変異に基づく、より精緻な医療が行われるようになってきました。また、患者と医療者にも優しい、身体に負担の少ない（低侵襲）治療が主流となりつつあります。

がん患者さんやご家族のための相談窓口について情報が提供されました。がん治療以外の悩みごと、がん診療拠点病院のがん相談支援センターにご相談いただけます。様々な悩みを伺った上で、緩和ケアセンターなど、専門の担当につなぐ役目もしています。働きながらがん治療を続ける、仕事と治療の両立支援も大きな課題です。当院では就職支援ナビゲーターによる出張相談も行われています。必要に応じて相談支援センターからハローワークや産業保健総合支援センターの専門的な相談へつながります。

患者さん、ご家族にとっては、さまざまな問題を one stop で相談できる体制として、当院では相談支援、入退院支援を合わせて「患者サポートセンター」とする組織の改編を行いましたのでどうぞ、ご利用下さい。

コロナ禍の収束の見通しはいまだ立ちません。当院は今後も都道府県がん診療連携拠点病院としての役割を果たしてまいります。先生方のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



2021 年春

## 新年度のご挨拶

事務長 杉山 興

地域の医療機関を始め関係機関の皆様には、日頃から大変お世話になっております。

さて、この1年はまさにコロナ禍との戦いに明け暮れた年でありました。各機関とも、感染患者の診療や院内感染防止対策など懸命に対応してこられたことと推察し、改めて敬意を表します。当院は新型コロナウイルス感染症患者の受け入れは行っておりませんが、がん診療専門病院として、感染対策等でがん診療まで十分手が回らないなどのお悩みを抱える医療機関さまの下支えを行うことで、少しでも皆様の負担軽減に寄与できればと考えております。がん診療に関するお困りごとなどありましたら、ぜひお気軽に当院へご相談いただければと存じます。



このような中で、外出先での感染を心配した受診控え、検診控えの動きが続いています。県の調べによりますと、令和2年度の市町村がん検診及び特定検診の受診者数が、前年度に比べ2割程度減少することが明らかになりました。2割の方が受診を控えた場合、県内で年間約300人のがんの発見が遅れる可能性があります。早期のがんは自覚症状がないことがほとんどで、検診を控えることで、がんの発見が遅れるなど重症化のリスクが高まるとされます。このため、当院としても、県民の皆様へ改めて検診や早期治療の重要性を発信しているところです。

コロナ禍においてもがん診療が円滑に行われますよう、関係機関の皆様には一層のご理解とご協力をお願いいたします。

## 医師退職のご報告（2021年3月31日付）

診療科	氏名
頭頸部外科	佐藤 雄一郎
消化器内科	栗田 聡



# 診療科のご紹介

## ～緩和ケア内科～

医師	卒業年	主な資格
本間 英之	1994年	・緩和医療学会専門医 ・日本外科学会認定医
生駒 美穂	1995年	・日本緩和医療学会認定医 ・日本ペインクリニック学会専門医 ・日本麻酔科学会専門医・指導医
中島 真人	2001年	・日本外科学会認定医 ・日本サイコオンコロジー学会認定 コミュニケーション技術研修会 (SHARE-CST) ファシリテーター

### 【当科の特徴】

- 1 新潟県がん診療拠点病院で初めて開設された「緩和ケア病棟」
- 2 フレキシブルに対応する「緩和ケア外来」
- 3 入院中の患者に寄り添う「緩和ケアチーム」
- 4 新潟県の緩和ケア教育・人材育成の拠点

2020年度より緩和ケア内科は常勤3人体制となり、より充実した緩和ケアを提供できるようになりました。緩和ケア内科の仕事は緩和ケア病棟（PCU）運営、緩和ケア外来診療、緩和ケアチーム活動を3つの柱としています。当院では2019年2月に県内がん診療拠点病院で初となるPCUが開設され、がんと診断された時から、がん治療を終了し最期を迎える時期まで、どの治療段階の患者さんに対しても専門的緩和ケアが提供できる体制が整いました。当院のPCUでは、最良の終末期ケアを提供することはもちろんですが、地域の医療介護福祉サービスを利用して自宅退院を目指す中継点としての役割も重視しています。

各診療科から患者さんが紹介されると、通院中ならば主科外来や化学療法日などに合わせて緩和ケア外来で診療を開始します。一方、入院中は多職種で構成される緩和ケアチームが対応します。日々“あずき色”のユニフォームを着て各病棟を飛び回り、各科の患者さんの診療に横断的に関わります。体調不良の患者さんでもこのユニフォームはインパクトがあるので「緩和ケアの医師、看護師」と覚えてくださいます。相談内容は身体症状の緩和、せん妄の治療、気持ちのつら



（前列左から中島医師、本間医師、生駒医師）

さへの対応、療養場所の相談、食事の相談など広い範囲に及びます。これからも患者さんやスタッフのニーズに応えられるよう質の向上に努めてまいります。さらには新潟県の緩和ケア教育・人材育成の拠点になるように体制を整えていく所存です。

## 診療科のご紹介

## ～形成外科～

医師	卒業年	主な資格
坂村 律生	1986年	・形成外科専門医 (再建・マイクロサージャリー分野指導医、皮膚腫瘍外科分野指導医) ・乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師



### 【当科の診療内容】

関係各診療科と協力し、頭頸部をはじめ、乳房、体幹、四肢等の腫瘍切除手術後に生じた組織欠損創に対し、(遊離)組織移植術などの手技を用いて、自家組織による創部被覆や形態の回復改善(再建)の手術を行うことを中心に診療しています。用いる自家組織は、患者さんご自身の皮膚、脂肪、筋肉、骨などです。整容面を考慮しつつ、組織移植の成功率を100%にする努力、また、移植組織採取部の犠牲も少なくすべく努力を重ねています。

乳房手術後の乳房再建につきましては、自家組織による再建の他に、人工乳房(シリコンインプラント)による再建を行っています。保険適用後2014年以来使用してきました人工乳房の使用禁止措置に伴い、人工乳房による手術を一時中断していましたが、現在は、新たに保険適用を受けた別な人工乳房を用いて乳房再建手術を再開しています。乳腺外科と連携し、自家組織による再建、人工乳房による再建の選択を、患者さんのご希望もふまえ決定しています。

がんとは関係なく生じていることも多い形成外科の対象疾患(体表の機能異常、形態異常、整容面)につきましても診療しています。

初めて受診の方の診療は、毎週水曜日午前と木曜日午前に行っています。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。



### ボランティア永年活動者表彰式を開催しました

ボランティア活動に長年取り組まれた登録ボランティアの方に対して、労をねぎらい感謝の意を表す表彰式を令和3年3月11日(水)に開催し、10年表彰者2名、20年表彰者2名の計4名の方にご参加いただきました。新型コロナウイルス感染予防対策により対面でのボランティア活動を長期間休止している状況について、表彰者の皆様からは一日も早い再開を待ち望んでおり、活動再開に備えて体力・技術の維持に励んでいる、とのお話をいただきました。

ボランティア活動は患者さんの入院生活の潤いを与える大切なものですので、活動再開に備えて感染予防対策の徹底と活動形態の工夫等に取り組んでまいります。



## 講演会・研修会 開催報告

## 地域医療連携講演会 開催報告

令和3年3月11日（木）当院講堂において令和2年度地域医療連携講演会を開催いたしました。

地域医療連携講演会は、地域の医療機関の皆様との連携構築を目的に毎年3月に開催しております。昨年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止しましたが、今年度は感染防止対策としてオンライン（ZOOM）形式で開催し、約50名の皆様からご参加いただきました。

講演会は、松本康男放射線治療科部長と高橋英明脳神経外科部長が、当院での臨床実践を通した取り組みについて講演しました。また、吉野真樹薬剤科長よりがん治療における薬剤師の役割についての講演がありました。

初のWEB形式での開催となりましたが、遠方の方でも視聴可能というオンライン開催の利点により、新潟市外の地域医療機関の皆様からも参加していただくことができました。ご参加いただきました皆様、どうもありがとうございました。今後とも皆様のご意見をいただきながら、新型コロナウイルス感染症の流行状況に十分留意した形での地域医療連携講演会を開催したいと考えております。

### 【当日プログラム】

講演1 「肺がんの定位放射線治療後の間違いやすい画像変化」 松本康男 放射線治療科部長

講演2 「がん患者と神経症状を診てきて」 高橋英明 脳神経外科部長

講演3 「～がん治療にかかわるみなさまのための～薬剤師ご活用の『すゝめ』」 吉野真樹 薬剤科長

## 在宅医療研修会 開催報告

がん患者の在宅診療を支える地域の訪問看護ステーションの皆様とともにスキルアップを目指し、連携強化を図ることを目的とした本研修会を3年ぶりに開催いたしました。令和3年1月26日から2月26日までの毎週、計5回をZOOMによるオンライン形式で実施し、延べ200人以上の皆様からご参加いただきました。

①リンパ浮腫ケア ②皮膚・排泄ケア [褥瘡ケア] ③皮膚・排泄ケア [ストーマ管理] ④緩和ケア [QOL向上のための症状マネジメント(嘔気・せん妄)] ⑤緩和ケア [全人的苦痛と介入方法]

参加者アンケートでは、多くの方から「知識が深まった」「実践に活かせる」との評価をいただいております。その他のご意見・ご要望もいただいております。それらを参考に今年度の研修会を企画・開催する予定です。



## 地域連携・相談支援センターから名称が変わりました 患者サポートセンターからのお知らせ

患者サポートセンター 副センター長 櫻井 圭美

平素より当院の運営におきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび新潟県立病院の地域連携および相談支援部門は一律に「患者サポートセンター」へ名称を変更しました。当院も令和3年4月1日から「患者サポートセンター」となりました。業務内容はこれまでと変わりはありませんが、地域連携部門、がん相談部門、退院支援部門、入院支援部門（入院支援センター）の4つの部門が患者サポートセンターとして患者さんに支援を行います。新型コロナウイルス感染症により、病院ではご家族の面会制限が継続されていますが、患者さんとご家族の意思決定を尊重し「安心して退院できる。転院できる」支援をしております。地域の皆様と一層連携を図っていく所存ですので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染予防のため、昨年度の医療者向け研修会は集合型の研修を自粛し、オンラインによる研修に切り替えました。今年度も、オンラインによる研修を推進し皆様のお役に立てるように努めてまいります。研修開催時には、この連携便りやホームページ上で随時開催案内をさせていただきますので、是非皆様のご参加をお願いしたいと思います。

### 新任のご挨拶

医療ソーシャルワーカー 菅野 まり子

4月から患者サポートセンターに配属となりました菅野（かんの）と申します。

当院では東5病棟を担当させていただきます。患者さん、ご家族が安心して治療を受けられるようサポートしていきたいと思ひます。また地域の関係機関の皆様ともスムーズに連携できるよう努めたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。



よろしく  
お願ひします

患者サポートセンター  
スタッフ

病診連携  
スタッフ



新潟県立がんセンター新潟病院 令和3年5月外来診療予定表

	月	火	水	木	金	
内科 (金曜の循環器は新潟大学から)	401診	栗原 太郎(血液)	小方 則夫(消化器)	廣瀬 貴之(血液)	栗原 太郎(血液)	小山 建一(呼吸器)
	402診	大倉 裕二(循環器)	今井 洋介(血液)	大倉 裕二(循環器)	石黒 卓朗(血液)	今井 洋介(血液)
	501診		谷 長行(糖尿病)	谷 長行(糖尿病)		谷 長行(糖尿病)
	502診	今井 径卓(消化器)	大山 泰郎(内分泌)	小方 則夫(消化器)	大山 泰郎(内分泌)	三浦 理(呼吸器)
	601診		丹羽 佑輔(消化器)	三浦 理(呼吸器)	高橋 祥史(消化器)	田中 洋史(呼吸器)
	602診	塩路 和彦(消化器)		小林 正明(消化器)	塩路 和彦(消化器)	(AM)田中 和世(循環器) (PM)尾崎 和幸(循環器)
	201診	(呼吸器内科医師)		梶原 大季(呼吸器)	北條 雄暉(消化器) 5/27より	馬場 順子(呼吸器)
内科新患予定表は下段を参照してください。						
小児科	1 診	小川 淳	渡辺 輝浩	阿部 咲子	小川 淳	渡辺 輝浩
	2 診		第3週専門外来(14:00~)	笠原 靖史	専門外来(PM)	阿部 咲子
*新患は紹介状が必要です。						
乳腺外科 消化器外科	1 診	神林 智寿子(乳腺)	藪崎 裕(胃)	野村 達也(肝胆脾)	瀧井 康公(大腸)	中川 悟(食道・胃)
	2 診	金子 耕司(乳腺)	松木 淳(胃)	瀧井 康公(予約のみ)	丸山 聡(大腸)	番場 竹生(食道・胃)
	3 診	五十嵐麻由子(乳腺)	會澤 雅樹(胃)	神林 智寿子(乳腺)	野上 仁(大腸)	
	4 診	沢津橋孝拓(乳腺)	酒井剛(胃)	高野 可赴(肝胆脾)	小柳英人/長橋規規(大腸)	宗岡悠介(食道・胃)
	予防センター乳腺		金子 耕司	五十嵐 麻由子	神林 智寿子	神林 智寿子
*乳腺外科は予約制です。						
呼吸器 外科	1 診	予約のみ	青木 正	予約のみ	予約のみ	青木正(AM10時~)
	2 診		岡田 英			岡田 英
骨軟部腫瘍 整形外科	1 診	第2,4週 畠野	山岸 哲郎(AM)		山岸 哲郎	柳橋 和仁
	2 診	柳橋 和仁			畠野 宏史	1,3,5週 畠野 2,4週 山岸
*完全紹介制です。						
脳神経内科(新潟大学より)		二宮 格		石黒 敬信		
精神科(午前のみ)			小林 真理		小林 真理	小林 真理
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
腫瘍内科 (毎週木曜午後のみ)				森山雅人(PM)		
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
脳神経外科	1 診	高橋 英明		五十川 瑞穂	高橋 英明	五十川 瑞穂
	2 診	五十川 瑞穂		高橋 英明	五十川 瑞穂	高橋 英明
	3 診					宇塚 岳夫(4週のPM)
婦人科	1 診	田村 亮	菊池 朗(AM)	菊池 朗	田村 亮	山口 雅幸
	2 診	高橋 宏太郎	山口 雅幸	田村 亮	山口 雅幸(AM)	高橋 宏太郎
	3 診	予約のみ	笹川 基(AM)	遠遺伝性乳がん卵巣がん外来 (大学・西野)	菊池 朗(予約のみ)	予約のみ
*完全紹介制です。						
皮膚科	1 診 (主に新患)	高塚 純子	島田 奏	竹之内 辰也	要藤 歩美	高塚(1,3,5週) 島田(2,4週)
	2 診 (主に再来)	島田 奏	竹之内 辰也	島田(1,3,5週) 高塚(2,4週)	高塚 純子	竹之内 辰也
	3 診	要藤 歩美	要藤 歩美	要藤 歩美	島田 奏	要藤 歩美
泌尿器科	1 診	谷川 俊貴	渡邊 和博	齋藤 俊弘	齋藤 俊弘	谷川 俊貴
	2 診	小林 和博	結城 恵里	小林 和博	結城 恵里	渡邊 和博
*新患は紹介状が必要です。						
眼科	1 診	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
	2 診			佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)
頭頸部外科	1 診	太田 久幸(再診)	富樫 孝文(新患)	予約のみ	川浪 孝介(新患)	川浪 孝介(新患・再診)
	2 診	田中 亮子(新患)	田中 亮子(再診)		富樫 孝文(再患)	第2,4予約のみ
	3 診	予約のみ	予約のみ		田中 亮子(再診)	
*新患は紹介状が必要です。						
放射線 治療科	1 診	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫
	2 診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男
*木曜日・金曜日は新患の対応ができない場合があります。						
麻酔科	1 診(ペインクリニック)	富田 美佐緒 高松 美砂子	富田 美佐緒 高松 美砂子	富田 美佐緒	高松(1,3,5週) 富田(2,4週)	富田/高松(1,3,5週)
	2 診(漢方外来)	渋江 智栄子		渋江 智栄子	渋江 智栄子	渋江 智栄子(2,4週)
術前 予約制です。						
形成外科	2,4週 13~14時(再来)			坂村 律生	坂村 律生	
緩和ケア科	AM/PM	本間 英之	中島 真人	本間/中島	生駒 美穂	生駒/中島
	*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。 *原則新患1日2名になります。新患依頼は外来へお問い合わせください。					
歯科口腔外科 (日本歯科大学より)	AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM	
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
令和3年5月内科新患予定表						
新患 (医師2名 隔週交替)	月曜				5/6 丹羽(消化器)馬場(呼吸器)	5/7 塩路(消化器)
	5/10 三浦(呼吸器)	5/11 栗原(血液) 高橋(消化器)	5/12 大山(内分泌) 今井(消化器)	5/13 廣瀬(血液) 大倉(循環器)	5/14 梶原(呼吸器)	
	5/17 小林(消化器)	5/18 小山(呼吸器) 石黒(血液)	5/19 田中(呼吸器) 今井(血液)	5/20 馬場(呼吸器) 丹羽(消化器)	5/21 塩路(消化器)	
	5/24 三浦(呼吸器)	5/25 高橋(消化器) 栗原(血液)	5/26 今井(消化器) 大山(内分泌)	5/27 大倉(循環器) 廣瀬(血液)	5/28 梶原(呼吸器)	
	5/31 小林(消化器)	6/1 石黒(血液) 小山(呼吸器)	6/2 今井(血液) 田中(呼吸器)	6/3 丹羽(消化器) 馬場(呼吸器)	6/4 塩路(消化器)	
※ 変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。(電話:025-234-0011)						

新潟県立がんセンター新潟病院 患者サポートセンター(地域連携部門)

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~19:00

がんセンター新潟病院 URL: <http://www.niigata-cc.jp>

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます